

○ ITが関わる事業活動(ITを売って儲ける、ITを使って儲ける)に従事する人材を「IT人材」のアウトラインとして整理。
(事業活動に参画する前提の学生を含む)

I 未踏人材

II ITエンジニア

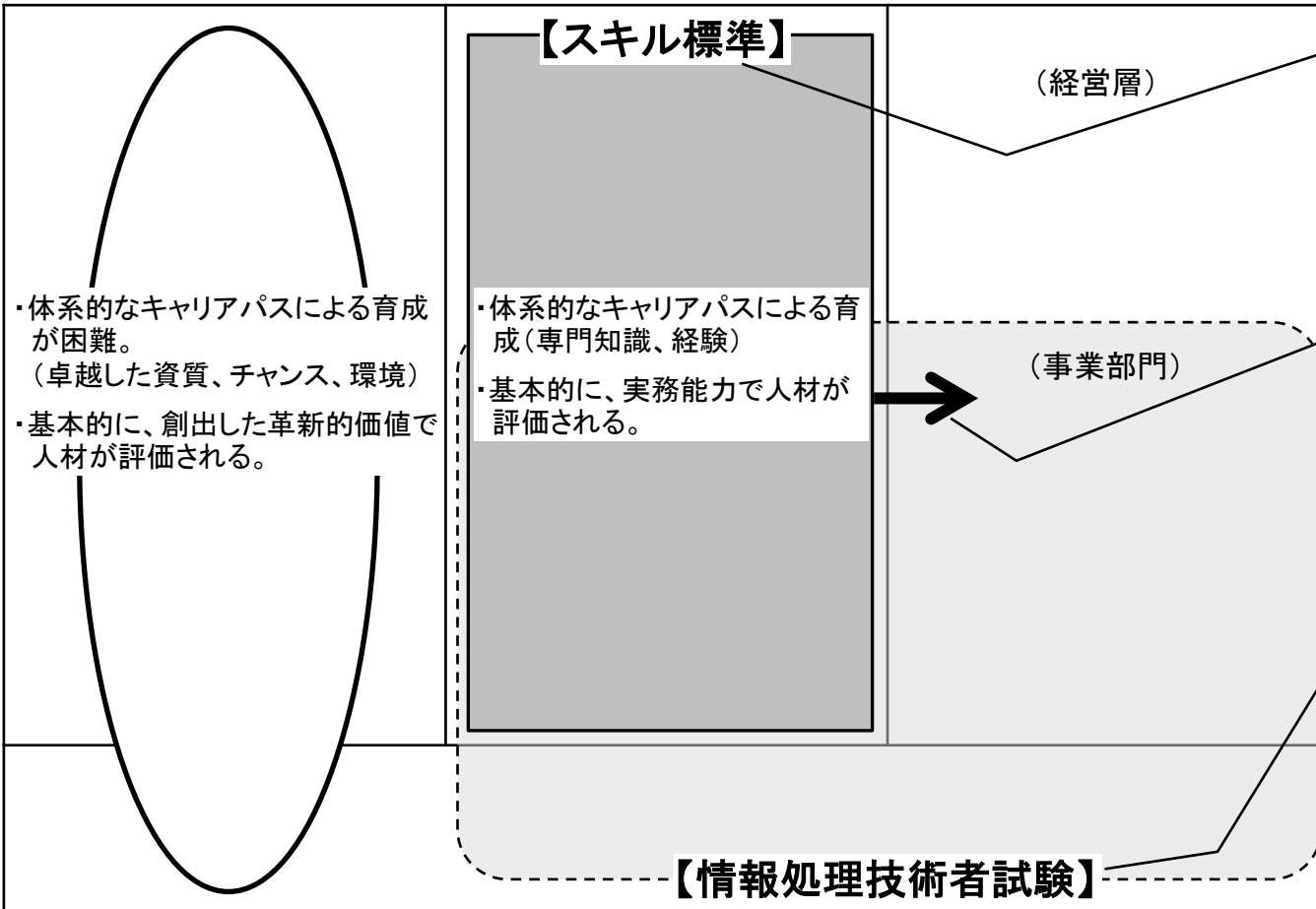
III ビジネスパーソン、IT以外のエンジニア

(レベル:高)

社会人

(レベル:低)

学生



○「スキル標準」の機能

- ITが関わる事業活動におけるロールモデルを提示する(キャリアフレームワーク)
- ITが関わる事業活動における作業項目とその遂行に必要なスキルを提示する(タスク・スキル)

ロールの広がりを提示するスキル標準の機能的観点からは、IT活用領域の拡大に伴い、

- ・融合IT人材
- ・ITエンジニア以外の発注・管理能力、
- ・ビッグデータ活用、
- ・セキュリティ対策、等

の面で、スキル標準の対象領域も拡大し得る。

○「情報処理技術者試験」の機能

- 実務遂行の前提として必要となる知識の体系を提示し、その習得状況について評価する。
- 試験区分のうち、
 - ・スキル標準と重なる部分は、主に高度試験が対応する。
 - ・ITエンジニアを目指す学生は、主に基本・応用技術者試験、ITパスポート試験が対応する。
 - ・その他学生、若手ビジネスパーソンは、ITパスポート試験が対応する。